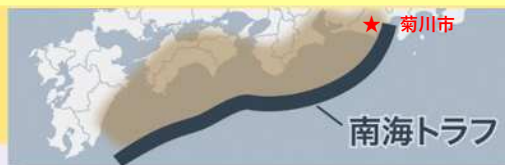


知ろう！菊川市に起こった地震 つなげよう！防災のバトン

南海トラフ巨大地震は
100～150年周期で菊川市を襲う！



1605 慶長地震 [M7.9]
102年
1707 宝永地震 [M8.6]
147年
1854 安政東海地震 [M8.4]
90年
1944 昭和東南海地震 [M7.9]



▲昭和東南海地震の被災住宅（下平川）
傾いた家を丸太で支えてある様子

80年以上・・・

南海トラフ巨大地震は、いつ起こってもおかしくない
[想定最大震度7、M9.0 菊川市被害想定最大死者数400人]

**地震は忘れたころにやってくる… 経験を伝え、
耐震補強・家具固定・食料等の備蓄などの備えを進めましょう**

駿河湾地震 [M6.5、最大震度6]



▲写真は駿河湾地震当時の菊川市の被害状況▶

2009年8月11日午前5時7分に発生。
菊川市内で震度5強を観測。
屋根瓦、ブロック塀、墓石の倒壊など
が多く、けが人も多数でした。

負傷者：15人が病院で手当
水道：一時断水
火災：1件
住宅瓦落下等：996戸
道路・橋の被害：23か所



原子力防災～菊川市原子力災害広域避難計画について

Q:原子力災害って？

原子力発電所の事故により、放射性物質が発電所から外へ漏れ、人体や周辺環境に被害が生じてしまうことです。

菊川市は、中部電力(株)浜岡原子力発電所での原子力災害に備え市民の皆様の避難方法や避難先について定めた

「菊川市原子力災害広域避難計画」を策定しています。



計画の詳細はこちらから

Q:いつ、どこに避難するの？

原子力災害発生時は、原子力災害の進展に伴い『屋内退避』や『避難』が指示されます。

屋内退避指示が出たら、自宅などの屋内に入り、図1のような対策をとります。

避難先は『原子力災害が単独で発生した場合』と『原子力災害と大規模地震が同時に起こった場合』で異なります。 [図2]



図 1

避難先への移動手段は、原則自家用車ですが、困難な方は、地区センター等へ集合の後、バスで移動します。

避難先 1	避難先	浜松市、湖西市、愛知県豊橋市及び田原市
	事 象	原子力災害が単独で発生した場合等
避難先 2	避難先	富山県高岡市、氷見市、砺波市及び小矢部市
	事 象	大規模地震との複合災害時などで避難先1に避難できない場合

図 2

Q:原子力災害や避難の情報は、どうやって知るの？

台風や地震などの災害と同じく『防災ラジオ』や『茶こちゃんメール』でお知らせします。

また『静岡県原子力防災ポータル』でも知ることができます。

防災ラジオ
無料で配布※[1世帯に1台]



※お住まいが菊川地区の方は、市役所2階危機管理課で配布。小笠地区の方は、中央公民館1階小笠市民課で配布。

茶こちゃんメール



↑ここから
空メールで
登録！



**原子力災害
ポータル**

